

宇都宮市立城山中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「1か月に、何冊くらい本を読みますか」の設問で、11冊以上と回答した生徒の割合は9.0%と、市の平均を約3ポイント上回っている。5～10冊の生徒も市の平均とほぼ同じで、読書に関して意欲は高い。今後とも持続させていきたい。

○「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定的割合は79.8%で、市の平均を9.3ポイント上回っている。また、「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」の設問でも肯定的割合が市の平均を2.6ポイント上回っている。主体的・対話的で深い学びの実現のため、各教科で話し合い活動に取り組んできた結果である。今後とも継続して取り組み、更に深めていきたい。

○「自分のよさを人のために生かしたいと思う」や「自分のもっている能力を十分に発揮したい」「将来の夢や目標をもっている」の肯定的割合はそれぞれ市の平均を上回っている。今後ともほめ励ますキャリア教育を推進し、友達のよさを伝え合う活動なども実践していきたい。

○「家の人と学校のできごとについて話をしている」「家の人と将来のことについて話すことがある」「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の肯定的割合も市の平均を上回っている。本校の生徒たちは家の人との関係も良好で、家でもほめ励まされていることがわかる。今後とも学校と家庭で連携してほめ励ます指導をしていきたい。

●「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「家で学校の宿題をしている」などの家庭学習の時間や内容についての肯定的割合は市の平均を下回っている。今後更に家庭学習の質の向上を目指した指導の工夫をしていくようにしたい。

●1日当たりのテレビゲーム(PC,携帯型、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)の時間で、4時間以上が市の平均を約4ポイント上回っている。家庭学習の時間が少ない大きな原因となっている。時間を決めて使用するなど指導を徹底させていくようにしたい。

●「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いている」の肯定的割合は高いが、「振り返る活動をよく行っている」の肯定的割合は市の平均を下回っている。学校質問紙では本校では振り返る活動を計画的に取り入れていると回答したが、生徒の意識との差があるので、今後も振り返る活動を更に充実させていきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	各教科で話し合い活動やICTを積極的に取り入れ、言語活動の質的向上や振り返り活動の充実を目指す。生徒一人一人の学びを見取りじっくりと取り組んでいくように適切に支援する。	「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」の設問でも肯定的割合が市の平均を2.6ポイント上回っているが、「振り返りをよく行っている」の肯定的割合は低かった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
家庭学習の時間や内容に関しての肯定的割合は市の平均を下回り、学力に関しても市の平均を下回った。	家庭学習の時間や質の向上を目指した指導の工夫	「宿題プラスワン」を地域学校園での合言葉とし、自学ノートを習慣化させるなどして、家庭学習を充実させ、基礎・基本を定着させていく。